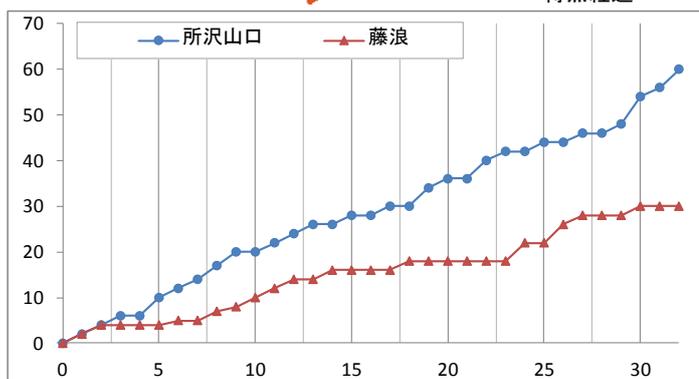




得点経過



大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																
会場	一関市総合体育館																
日時	2015年8月24日(月)	15:05															
コート	Bコート 第5試合																
カテゴリー	女 決勝トーナメント2回戦																
主審	田邊 真由美																
副審	吉田 康人																
TEAM A	<table border="1"> <tr> <td>17</td> <td>1st</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>2nd</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>3rd</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>4th</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	17	1st	7	11	2nd	9	14	3rd	6	18	4th	8	-			TEAM B
17	1st	7															
11	2nd	9															
14	3rd	6															
18	4th	8															
-																	
所沢山口	60	30	藤浪														
(埼玉県)	○	●	(愛知県)														

BOXスコア

TEAM A		所沢山口						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	児玉 結唯	×	12	2	3	0	0	
5	福島 真衣	×	24	0	11	2	3	
6	小澤 実里	×	14	0	6	2	1	
7	新井 萌衣	×	8	0	4	0	3	
8	渋谷 彩奈	DNP	0	0	0	0	0	
9	辻岡 咲菜	×	2	0	1	0	0	
10	羽生 梨々花	DNP	0	0	0	0	0	
11	加藤 麗	DNP	0	0	0	0	0	
12	寺坂 日菜	DNP	0	0	0	0	0	
13	会田 花来	DNP	0	0	0	0	0	
14	伊東 花純	DNP	0	0	0	0	0	
15	福田 のあ	DNP	0	0	0	0	0	
16	牧野 南唯菜	DNP	0	0	0	0	0	
17	李 慧隣	DNP	0	0	0	0	0	
18	澤田 百花	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	吉田 俊							
合計			60	2	25	4	7	

TEAM B		藤浪						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	深津 彩生	×	5	0	2	1	1	
5	森 愛理	×	8	0	4	0	0	
6	江田 晴香	×	7	0	3	1	3	
7	安江 沙碧梨	×	6	0	3	0	3	
8	下里 柚喜	×	2	0	1	0	0	
9	新山 知来	DNP	0	0	0	0	0	
10	伊森 可琳	DNP	0	0	0	0	0	
11	大西 莉央	DNP	0	0	0	0	0	
12	藤田 和	/	2	0	1	0	0	
13	黒野 衣真知	DNP	0	0	0	0	0	
14	滝沢 茉莉	DNP	0	0	0	0	0	
15	佐古 美咲	/	0	0	0	0	0	
16	江上 芽依	DNP	0	0	0	0	0	
17	日野 華希	/	0	0	0	0	0	
18	松田 藍羽	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	山本 貴美子							
合計			30	0	14	2	7	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

昨年準優勝の藤浪と昨年3位の所沢山口の好カードとなった一戦。1Q、両チームマンツーマンDefでスタート。藤浪#5のゴール下シュートで先制。藤浪のタイトなDefになかなかチャンスをつかめない所沢山口だが、粘り強い1on1から#7が得点をきっかけに確実に点を重ねる所沢山口に対し、藤浪はタイムアウトを取りDefを厳しくするが差は縮まらず、17-7で1Q終了。2Qは、所沢山口#4の3Pが早々に決まる。両チーム、ゴール下のリバウンド争いからチャンスを狙うが波に乗れず、藤浪がタイムアウト。Defを2-1-2のゾーンに切り換え突破口を探す。所沢山口もゾーンを攻めあぐね、得点がとまり、28-16で前半終了。

3Qは、所沢山口がオールコートのマンツーマンDef、藤浪がゾーンDefでスタート。所沢山口のボールに対する厳しいチェックで藤浪は得点が止まる。所沢山口は確実なリバウンドから#5の連続得点、#6、#7の1on1で着実に点を重ね突き放し、42-22で3Qを終了。4Q、何とか追いつきたい藤浪は、激しいDefでミス誘い反撃を試みる。所沢山口のミスからチャンスを得て#12、#5のゴール下が決まり、所沢山口はタイムアウト。その後、落ち着きを取り戻した所沢山口の#4、#5のジャンプシュートなどが決まり、点差が開いた。最後まで冷静にプレーを続けた所沢山口が60-30で藤浪に勝利し、明日の準決勝に駒を進めた。最後まで攻める姿勢を貫いた藤浪に拍手を贈りたい。